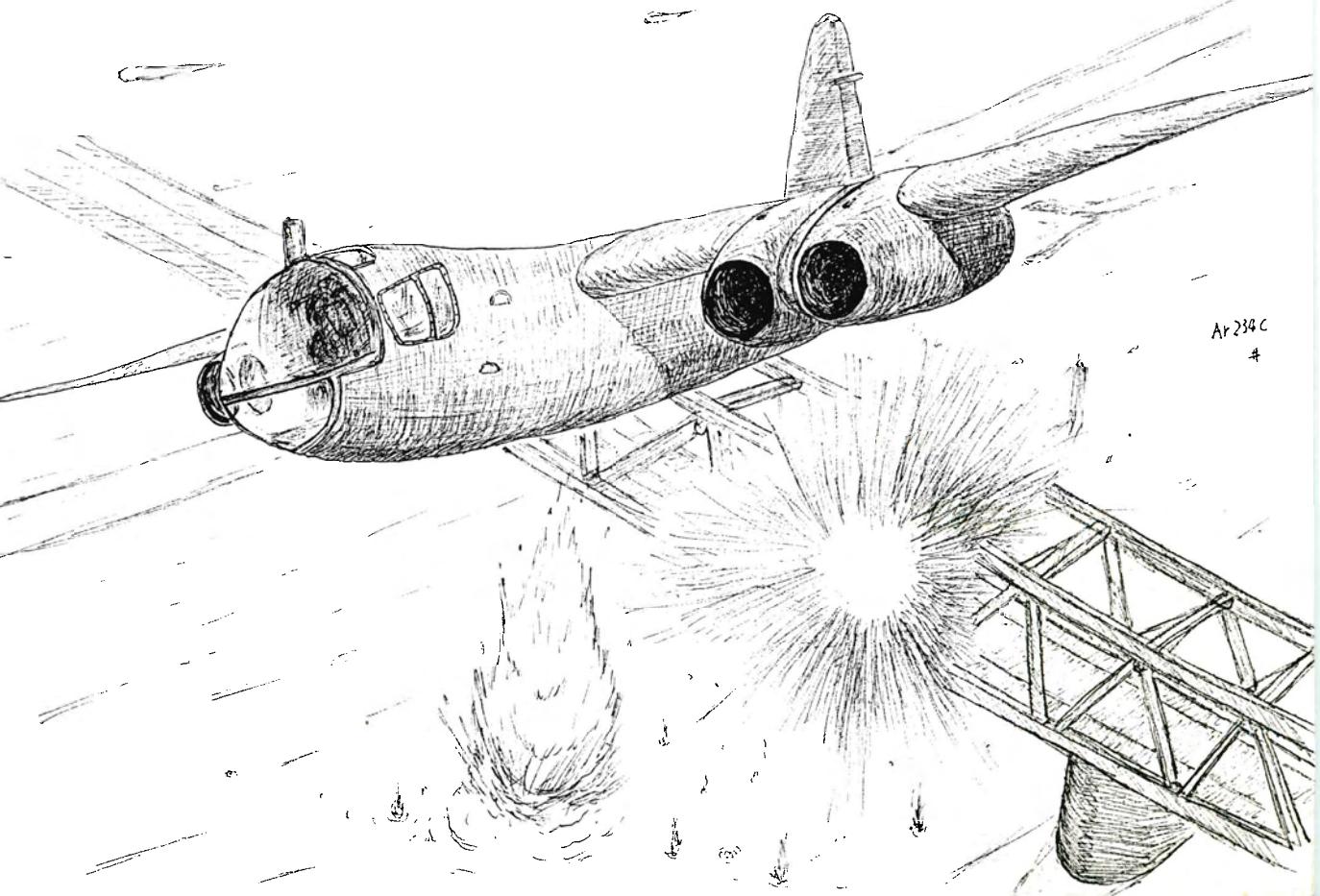
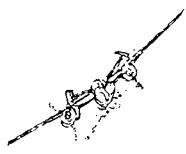


FÜRSTENTUM
ISABERIA
MARINE
FLIEGER
TRUPPE.

第13回結果発表！
(ゲーム時間：1944年6月)



☆戦果報告

《基地》

島津少将：……何も言わん。拠点はまたも奪われた。空挺部隊によってだ。一体連中のどこにそんな兵力があるのだ？艦隊と協力しての後方攻撃はうまく進行しているはずなのに、未だ効果が出ている傾向はない。そう刺激的な結果は出ないことは予想内だが、それにしてもこれはひどいぞ。……以外とこれは、相当長引く持久戦になるかもしだ。

《空母》

松平大佐：連中め、低空を飛んでレーダーから逃げたのだろう、こちらが手を出さないうちに首都マニラを空襲しやがった！幸い大した被害は出なかったが、市民の心理に与えた影響は実際の被害よりもはるかに大きかろう。偵察機の報告によると、現在敵艦隊は星条旗を掲げた複数の駆逐艦に伴われて南シナ海を南下中のことだ。既に我々の戦闘半径内からは離脱してしまっている。正規軍の方も陸上攻撃の都合上手を出せない。無念だ……。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
岬当麻	3 1	1 2 3	Big H	ハンス	0	2	8	2	准尉	生還	少破				
	3 1	1 2 3	バイアリーターキ	レーマン	0	2	5	1	准尉	軽傷	少破				
	F 1	零式戦	シャーマンマジック	ディードリット	0	0	1	2	少尉	生還	中破				
	F 1	零式戦	Z Z ガンダム	ルー・ルカ	0	0	1	7	6	少尉	軽傷	大破			
	V B	九九爆	爆裂商人魂	越前屋 幸太夫 他1名	0	1	3	1	准尉	生還	無傷				
吉楽征二	1 1	零式戦	疾風迅雷	東雲 英治	1	0	9	3	准尉	生還	少破				
	1 1	P 4 0	—	ロナルド・ウェルナー	0	0	1	0	4	少尉	軽傷	少破			
	1 1	B 9 F	グナイゼナウ	シャルンホルスト	1	0	2	1	准尉	軽傷	中破				
	3 1	九九爆	兄の敵！	沖田 深雪 他1名	0	2	5	1	准尉	軽傷	少破				
	F 2	零式戦	七生報国	沖田 健	0	0	3	2	准尉	軽傷	墜落				
篠原崇	1 1	零式戦	瑞鶴号	角田 覚治					中尉	戦死					
	2 1	零式戦	暁の女神号	神 弥生	1	0	2	1	准尉	重傷	少破				
	2 1	零式戦	くいんまんさ♡	エルピー・ブル	3	0	9	3	少尉	生還	中破				
	2 1	零式戦	リターン・トゥ・イーフリー	神 亜由美	0	0	1	1	准尉	軽傷	大破				
	2 1	P 4 0	僕は生きていた!!	ベルフィービー	1	0	2	1	准尉	軽傷	中破				
	2 1	1 9 0	疾風怒涛	ブルムファスト	0	0	1	1	准尉	軽傷	少破				
	2 1	1 9 0	碧玉女伯爵	レジナ・ライス	0	1	3	1	准尉	生還	無傷				
	3 1	1 9 0	ティンカーベル☆	フィオナ=マクロウド	0	2	5	1	准尉	軽傷	少破				
	3 1	1 2 3	カトンボ	北海 熊五郎	0	3	7	1	准尉	軽傷	無傷				
	3 1	彗星	Blau Blitz	エル=プライス シーラ・エル・クリステン	0	1	2	4	1	少尉	生還	無傷			
療養				神 千尋						少尉	回復				
				フラウ=ボウ						准尉	回復				
鈴木敬純	1 1	P 4 0	伝国の玉璽	袁術 公路	0	0	2	2	准尉	生還	無傷				
	F 2	零式戦	—	坂井 次郎	5	0	1	0	1	少尉	生還	無傷			
	F 2	零式戦	城一定考取大学！	宮下 枯竹軒	0	0	1	1	准尉	生還	無傷				
	V B	九九爆	—	伴 太一 他1名	0	0	1	1	准尉	生還	無傷				
秋信敏男	1 1	1 9 0	—	J. E. Warnock	1	0	2	6	1	0	中尉	軽傷	中破		
	2 2	1 9 0	—	R. Hunter	0	0	2	2	2	准尉	軽傷	中破			
	3 1	1 9 0	—	佐々木 吉雄	0	1	3	1	准尉	重傷	中破				
	F 2	烈風	—	K. Penn	0	0	2	6	3	中尉	生還	無傷			
	V B	九九爆	—	斎藤 武 他1名	0	0	1	1	准尉	生還	無傷				
井村和正	3 1	1 9 0	クバニのライオン	クルピングスキー	0	0	6	2	准尉	生還	中破				
	3 2	彗星	炎の爆撃屋	赤根 武士 他1名	0	0	4	3	6	中尉	生還	少破			
	F 1	烈風	見敵必殺号	メルダース	0	0	3	1	6	中尉	軽傷	少破			

菅原忠幸	2 1	P 5 1	昇竜	リュウ・シキフネ	0	0	5 1	1 3	大尉生還少破
	2 1	零式戦	武帝	コウ・コウコウ					中尉戦死
	2 1	P 4 0	人狼	キリーク・シマー	0	0	4	2	准尉生還無傷
	3 1	1 9 0	ローレライ	カラリバル・チュリアス	0	0	4	2	准尉軽傷大破
	3 1	彗星	王虎	リー・ツァイリン	0	1	1 9	8	少尉軽傷中破
	V B	九九爆	不動	カン・ケンカ			3	1	准尉
				イエロウタ・コイズミ 他1名	0	0	6	2	准尉生還少破
遠藤誠	1 1	P 4 0	レッド・バロン	ファン・リヒトホーフェン	0	0	3	2	准尉生還少破
	1 1	烈風	Blitz	ピッテンフェルト	0	0	2 4	3	少尉軽傷少破
	1 2	烈風	Biene	カール・ゲスタフ					少佐戦死
	1 3	1 9 0	Eis	ウルリッヒ・ケスラー	0	0	4	2	准尉重傷撃墜
	1 3	P 4 0	Schwalbe	井上 成美	0	1	3	1	准尉軽傷少破
降矢浩己	2 2	P 4 0 A	-計画任務部隊	大久保 直美					中尉戦死
	2 2	P 4 0 A	-計画任務部隊	シェーンコップ	0	0	2 5	3	中尉軽傷大破
	2 2	1 9 0 A	-計画任務部隊	ミッターマイヤー	1	0	5 6	9	大尉重傷撃墜
	3 2	P 4 0 A	-計画任務部隊	神永 友紀子	0	1	6	2	准尉軽傷少破
	3 2	1 9 0 A	-計画任務部隊	有森 也美	0	0	1	1	准尉生還無傷
	3 2	1 9 0 A	-計画任務部隊	神永 友美子	0	0	5	2	准尉軽傷大破
	F 2	零式戦	A-計画任務部隊	かえるで、すら!!					中尉戦死
	F 2	零式戦	A-計画任務部隊	かっぱの野郎!!					中尉戦死
	F 2	零式戦	A-計画任務部隊	彩弧 由貴	1	0	5	2	准尉生還無傷
	V T	流星改	A-計画任務部隊	石見 直子 他1名	0	1	4 7	8	大尉軽傷中破
	V T	流星改	A-計画任務部隊	松井 紗綾 他1名	0	1	3 3	3	中尉生還無傷
	V B	九九爆	A-計画任務部隊	降矢 浩己 他1名	1	1	4	1	准尉生還無傷

失格者：部隊不記入 1 名

☆略号解説

1 2 3 … H s 1 2 3 A – 1 零式戦…零式艦上戦闘機五二型乙

九九爆…九九式艦上爆撃機二二型 P 4 0 … P – 4 0 M ウォーホーク

B 9 F … B f 1 0 9 F – 1 1 9 0 … F w 1 9 0 G – 3

彗星…十三試艦上爆撃機「彗星」一二型 烈風…十七試艦上戦闘機「烈風」

P 5 1 … P – 5 1 C ムスタング 流星改…十六試艦上攻撃機「流星」一二型

☆状態欄解説

生還…文字通り 軽傷…ちょっとした怪我 重傷…文字通り。治療費以外無料で休めます

戦死…文字通り 事故…事故死。特進の対象にはなりません 回復…ケガ・病気が全快

☆機体欄解説

無傷…文字通り 少破…軽いダメージ 中破…少し痛いダメージ 大破…使用不能

撃墜…文字通り 喪失…母艦沈没・基地攻撃による喪失 墜落…前記以外による喪失

☆次回作戦

《基地》

少将：今度はコレヒドールからやるぞ。作戦は他でもない、首都マニラの防空戦だ。これで守り切れなくても政府機能は北方へ移動する予定だが、それは最悪の事態だ。それだけは避けるよう、各自最善を尽くせ。でないと給料が出ないばかりか、自分の命さえ危なくなるぞ。爆撃隊の方は仕事がないので訓練に回ってもらう。……いや、今のままで充分

上手いのだが、将来的には更に手強いアメリカ軍との対戦も考えられるのでな。

……訓練と思って馬鹿にするなよ。締めくくりには廃艦になる予定の「ジークライヒ（旧 赤城）」など、実艦多数を標的にする予定だからな。

《空母》

大佐：今回の作戦は帝国海軍と共同で行なう。敵はアメリカ海軍、決戦予定海域はマリアナ沖だ。我々は小沢治三郎中将の指揮下に入って作戦する。防ぎ切れなければ、再びイザベリア本土がアメリカ軍の猛威にじかにさらされることになる。それも、先次紛争程度のレベルではないぞ。……うそ、空母2隻と駆逐艦10隻ぐらいは我が軍だけで沈めんと、後々苦しくなるだろう。

◇次回の編成

《基地》

飛行第101戦隊〈迎撃〉

第1中隊…第1波 第2中隊…第2波 第3中隊…第3波

飛行第102戦隊〈迎撃〉（飛101戦と共同）

第1中隊…第1波 第2中隊…第2波 第3中隊…第3波

飛行第103戦隊〈訓練〉

第1中隊…急降下 第2中隊…水平 第3中隊…雷撃

《空母（零式戦、烈風、九九艦爆、SBD、天山、TBF、流星改のみ参加可）》

VF (Det. 1) …艦隊防空 VF (Det. 2) …VB/T護衛

VB…急降下（註1） VT…雷撃（註2）

註1：九九艦爆、SBDのみ

註2：TBF、流星改のみ

※ 空母シナリオは制式機使用キャラのみ選択可能です。※

空母の話 パートII

「バルツアベル」が一線任務に就役しました。従って「ガイア」がドック入りする事になります。現在のところ経過は順調です。

一方で新造空母の量産計画が決定しました。日本海軍「信濃」の改良型です。「大和」型戦艦をベースにした空母に、アングルド・デッキなどの技術が加わるわけです。更にスパイ活動によって「ミッドウェー」級の情報が入ったので、その分も加味されます。勿論設計思想が異なりますから、細かなデータも変わります。以下にその要目を掲載します。

「イザベリア」級（仮称）

基準排水量	62000t	満載排水量	72000t
全長	295.2m	飛行甲板幅	40m
吃水	10m	主機	蒸気タービン4軸 212000HP
速力	31ノット	乗員数	4100人
エレベーター	3基	カタパルト	油圧式 2基
搭載機数	80機		
兵装	10cm×18 40mm×84 25mm×151		
	28連装7cm対空ロケットランチャー12基		

PCリプレイ

パンダンから出撃した飛行第102・103両戦隊の第1中隊は、30分弱で前線に到達した。海を隔てているそこは最前線であり、かつ後方の補給基地である。既に沿岸には揚陸作戦用の艦艇が多数待機状態にあり、早くも対空砲火を射ち上げてきていた。先行する制空隊がやったのだろう、ハンガー近辺には炎上している機

戦果を上げるどころの騒ぎではなかった。メルダースの烈風は性能の差で助かった反面、差が大きすぎて逆に攻撃のチャンスがなかなかつかめなかつた。後につこうとすると敵が減速するので、オーバーシュートしてしまうのである。結局迎撃戦闘は敗失であった。

その後始末を空母攻撃隊の護衛機がとることになる。

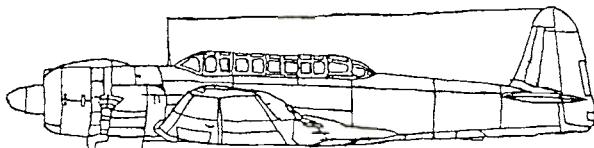
はじめに来襲を見付けたのは、坂井 次郎だった。さすがにラバウル帰りである。それまで追っていた防空隊のF Mを放り出すとそちらへ向かっていった。正対戦であつと言ふ間にF M一機を片付けると、次はS B D隊にかかった。最終的にはそれまでの分も含め、その調子で5機を落としている。

K. Pennも素速く対応はした方だったが、対空砲を避ける方で手間取り、スコアは上がらなかつた。

V T の石見 直子・鈴木 悅子は正攻法で空母の一隻めがけて魚雷を投下した。結局これはかわされたものの、行動を誤った駆逐艦に命中、撃沈した。

制式機追加

雷撃機がT B Fと流星改だけだと編成上キツいので、やはり天山を復活させます。T B Fを降格してもいいのですが、それだとちょっとT B Fが勿体無いので。



B 6 N 2 十四試艦上攻撃機「天山」一二型
九七艦攻の後継機として開発されたもの。
稼動率は劣悪だったが、その他のデータは艦攻としては充分良好だった。

3座・1000kg・固定火器13×1+7.7×1
搭載力800kg・最大速度481km／時
(無制限)

制式機解説

H s 1 2 3は、ナチ・ドイツ空軍が誕生した当時の急降下爆撃機である。ハナからJ u 8 7完成までの「つなぎ」として開発されたため、さしたる高性能は要求されていなかつた。当時そろそろ限界が見えはじめていた複葉形式が採用されているのもそのせいであろうと推察される。もっとも、この種の機体(直協機という)の命は何よりもまず機動性であり、その点ではいい結果を招いていた。単純な固定脚・空冷エンジンというスタイルにしても同様で、これが後に厳しい自然環境の東部戦線での運用を容易にしていたのだ。

さて、本機は頭書の通りJ u 8 7「ツツーカ」完成までの「つなぎ」だったため、登場後5年と経たずに二線部隊または練習隊にまわされた。だから、1942年あたりの対ソ戦で一線機が極度に不足した時にも(それ以前のバトル・オブ・ブリテン、クレタ・マルタ戦などで)まだ充分使える状態にあったのである。ドイツ軍としては使える機体はグラライダーでも欲しかったから(事実輸送用にグラライダーを使っていた)一線にまわした訳で、必ずしも本機が抜きん出て優秀だった訳ではない。ただパイロットたちには軽快な本機の方がJ u 8 7よりも好評で、見事に期待に応えて見せた。また、当時まだ貧弱だったソ連空軍相手なら、この程度で充分活躍できたのだった。



体もいくつか認められる。上空はまったくクリアである。今回の主たる目標は艦艇ではなくて兵站補給施設であるから、こうるさい対空陣地には護衛隊がまわった。…が、そうは間屋がおろさない。滑走路から戦闘機らしき機影が一機また一機と上がってくる。滑走路は無傷な訳で、そうなるのも無理はないのだが、不意を突かれたコウ・コウコウの零式戦がまともに弾をくらって撃墜される。慌てて上昇に入った彼らを、今度は対空砲が襲った。神 亜由美が至近弾を受けて機体を大破させる。ただし本人の方は大した事がなく、上手い具合に戦線を離脱、だましだまし基地まで帰ることに成功した。神 弥生はこの間に運よく巴戦に持ち込み、P-40を撃墜したが、別の敵機から操縦室に命中弾を受け、重傷を負った。リュウ・シキフネのP-51Cは不運だった。まだ経験の浅いキリーク・シマーから敵機と間違われ、いきなり背後から銃撃を受けたのだ。リュウがベテランで、急いで国籍表示が見えるように回避行動を取ったので機体少破ですんだが、新兵同士だったら撃墜されていただろう。もっとも、制空隊でもシャルンホルストのBf109Fがこれと同様に誤認されてビッテンフェルトの烈風に攻撃されており、戦場では避けえない事故なのかも知れない。まして、敵味方で同類機を使っている場合にはなおさらだろう。

爆撃隊の方も対空陣地と敵迎撃機の攻撃でかなり難渋した。陣地の方を沈黙させるべく、ハンスとレーマンのHs123Aが向かって行く。これこそ本機の十八番で、機銃も使ってそれぞれ二ヶ所を沈黙させることに成功した。それを見た北海熊五郎が同様に突撃、無傷で三ヶ所を黙らせる。複葉機のために軽快であり、しかも低速でじっくり狙えるため、この手の任務は軽くこなすのだ。

沖田 深雪・沖田 真雪の九九艦爆は一旦砲撃がひけたところで倉庫にダイブした。ぎりぎりまで突っ込んでから250kg一発に60kg二発を投下。引き起こしは素速かったが、続いて起こった予想外の大爆発に巻き込まれ、尾部が少し焼けた。燃料貯蔵庫だったのである。佐々木 吉雄のFw190Gもパイプラインに500kgを投下、難なくこれを破壊。この辺で帰還用燃料の心配が出始めたので、それぞれ退却に入った。

一方舞台は空母に移る。

「首都空爆さる」の急報がイザベリア機動部隊に届いたのは、昼日中のことである。彼らにとっては寝耳に水のことだった。無理もない。イエール艦隊が北上してきたのは、囮である自分たちを攻撃するためと確信していたのだから。ただちに戦闘機が迎撃に上がる。敵の位置は本土の偵察隊によって大体入手できていたから、退路に待ち伏せしようという計画だった。その一方で艦爆・艦攻隊もフル装備で出撃した。

コレヒドール他の要塞から出てくる本土航空隊の傘に充分はまるまで時期を見ようとしていた作戦が、裏目にでた格好になったのだった。

母艦の誘導に従って全速で急行した制空戦闘機隊は、10分足らずで敵編隊と接触した。敵はFMとSBDだけ、数は70機強。こちらは20機前後(NPC含む)である。SBDが多いから、有利。そう踏んで、ルー・ルカが真っ先に突っ込んだ。ところが敵も気付いていて、引き付けておいてから反撃してきた。すぐ右の主翼に火がつく。急降下の風圧で危なく消し止めたものの戦闘に復帰できる状態ではなく、帰還しようとした。だがここで三倍の差が響いてくる。別の機体に食い付かれ、母艦にたどり着いたときはものの見事にボロボロにされていた。ディードリットの零式戦は一旦必要以上に上昇した後、散開したSBDの一機を狙って飛び込んだ。だが、やはり高度の取りすぎが災いして戦果なし。この後やはりFMに追い回され、